

宇都宮市立富士見小学校 第5学年 児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

【家庭での学習】について
○「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」について、肯定割合が80.6%と、県の平均を5.4ポイント上回っている。また、「家で、学校やじゅくの決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」について、肯定割合が75%と、県の平均を15.9ポイント上回り、自主学習に進んで取り組む児童が多いと考えられる。
●「家で、学校の授業の復習をしている」について、肯定割合が66.7%と、県の平均を1.1ポイント下回っている。このことから、自主学習に意欲的に取り組む児童が多い一方で、授業内容を振り返ったり、学習したことを確認したりする習慣が身に付いていない児童もいることがうかがえる。今後は本校の「家庭学習のすすめ」をもとに、復習に力を入れた自主学習の方法や内容を指導することで、児童の意欲を生かしながら学力が向上するように働きかけていきたい。
【学校での様子】について
○「授業では、自分の考えを発表する機会があたえられている」の肯定割合が96.3%で、県の平均を13.6ポイント上回っている。また、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の肯定割合が84.2%で、県の平均を5.9ポイント上回っている。このことから、学習において話し合い活動に対する意欲が高く、友達と意見を交わす良さを実感している様子がうかがえる。今後もペアやグループでの話し合い活動を多く取り入れながら、友達と学び合う楽しさを実感できるよう指導していきたい。
●「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」について、肯定割合が73.1%と、県平均を8.3ポイント下回った。授業の最後に本時の学習を振り返る時間をきちんと確保し、学んだ知識の定着を図るとともに、次時への学習意欲につなげていきたい。
【自分自身のこと】について
○「自分は勉強がよくできるほうだと思う」について、肯定割合が73.2%で、県の平均を14.2ポイント上回っている。また、「自分には、よいところがあると思う」の項目は11.4ポイント、「むずかしいことでも、失敗をおそれないで挑戦している」の項目は11.6ポイント県の平均を上回っている。今後も認め励ます指導を続けることで、児童の自己肯定感を高められるようにしたい。また特別活動や学級活動を充実させることで、自己有用感を感じられるようにしていきたい。

宇都宮市立富士見小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容